

## お子さんの視力検査について

子どもの目の機能は生まれてから発達を続け、6歳にはほぼ完成します。ところが強い屈折異常（遠視、近視、乱視）や斜視があると目の機能の発達が遅れ、良い視力が得られません。こうした異常は早く見つけ、小さいうちから正しい治療や指導をする必要があります。（普段の生活では見付きにくい、視力障害が見つかることがあります。）

このような異常を見つけるために、視力検査は大切な検査です。3歳になると、練習をすれば視力検査ができるようになります。そこで、アンケートに記入されるとともに、裏面の「家庭での視力検査の方法」をよく読んでから視力検査をして、その結果を記入し、3歳児健康診査の日にご持参下さい

※この問診票は、お子さんの健康を管理する目的以外は使用されません。

〇〇市（町村）保健センター